

カヌーで巡る野鳥観察と万之瀬川クルーズ

県立南薩少年自然の家

野鳥が飛来する季節がやってきました！

当施設は、万之瀬川の河口域に隣接しており、ここは、国指定の天然記念物を有する地域でもあります。夏になるとハマボウが黄色い花を咲かせ、スナガニ科のハクセンシオマネキが顔を見せます。冬になると、絶滅危惧種のクロツラヘラサギをはじめ、たくさんの渡り鳥がやってきます。11月下旬、吹上浜海浜公園管理事務所との共催で、この時季にしか見られない野鳥を楽しみながら、南薩の大自然を満喫してもらう事業を実施しました。



【クロツラヘラサギ】



【カルガモ】

カヌーで巡る万之瀬川クルーズ

参加者は、午前中はカヌーを漕ぎながら、羽を休めたり、上空を飛んだりする野鳥の様子を観察しました。上流の上ノ山橋を目指していると、途中で、参加者に見ていただきたかったクロツラヘラサギが羽を休めていました。近づきすぎると逃げてしまうので、少し離れたところから双眼鏡を使って様子を観察しました。何羽かが飛んでいく姿も見られ、参加者は、首や羽をまっすぐに伸ばし飛んでいく姿に感動していました。また、目の前に見える金峰山、水面を飛び跳ねるボラや気持ちよさそうに泳ぐエイの姿も見ることができ、参加者にとって大満足のカヌークルーズとなりました。



【カヌーで万之瀬川クルーズ】

吹上浜海浜公園での野鳥観察

午前中に見た野鳥をじっくり観察したり、野鳥について詳しく学んだりするために、午後からは、吹上浜海浜公園で見られる野鳥観察を行いました。

野鳥について詳しい吹上浜海浜公園管理事務所の職員で、日本野鳥の会かごしま支部の小園卓馬さんから、観察の仕方や野鳥の生態などについて詳しく教えていただきました。サンセットブリッジでは、フィールドスコープで観察を行うことで、より大きく鳥たちの姿をとらえることができ、参加者から歓声が上がっていました。また、上空では、カラスとトビがけんかする珍しい様子も見られました。さらに、クロツラヘラサギをはじめ、魚をねらうミサゴ、じっとたたずんでいるアオサギ、セグロカモメ、カルガモ、マガモの群れ、V字型の並びになり飛んでいくカワウなど、たくさんの野鳥を観察することができました。参加者は、改めて吹上浜海浜公園周辺は野鳥の宝庫であることを確かめていました。



【吹上浜海浜公園での野鳥観察】

参加者の感想

- クルーズ中に鳥のことや海、山、川のことについて説明していただき勉強になった。
- 普段気にとめることがなかった野鳥をじっくり観察することができてよかった。
- 双眼鏡の貸出もあり、クロツラヘラサギも見ることができて大満足だった。